※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　新倫理　新訂版　（清水書院）						
副教材等	テオーリア　最新倫理資料集　新版四訂　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常の中で常識にとらわれていると、一つの考えにとらわれて、行き詰まってしまうことがある。先人の生き方・考え方を学ぶ中で、多様な価値観を知り、異なる価値観を認めながら自分の生き方、共通理解できる価値や基準を考えていってほしい

２　学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて，青年期における自己形成と人間としてのあり方生き方について理解と思索を深めさせるとともに，人格の形成に努める実践的意欲を高め，他者とともに生きる主体としての自己の確立を促し，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と自己形成について関心を高め，人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持つとともに，これらに関わる諸課題を探究する態度を身につけ，人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとする。	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし，人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに，良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断し，その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択して，これらを自己形成に資するように活用し，学び方を身につける。	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などにかかわる基本的な事柄を，生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し，人格の形成に生かす知識として身につけている。
評価方法	課題	定期考査 課題	定期考査 課題	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期前半	現代に生きる自己の課題・人間としての自覚と生き方・国際社会に生き	・人間とは何か ・青年期の課題と自己形成 ・人生における哲学 ・人生における宗教 ・人生の知恵 ・人生における芸術 ・日本の風土と外来思想の受容 ・現代の日本と日本人としての自覚	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:　・現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b: 日本思想のまとめとして，国際社会に生きる日本人として，これからの自分の生き方やあり方について考える意欲を高め，今後の生き方について考え、適切に表現している。 c: 日本人のものの見方・考え方の中で，西洋思想の受容によって形成されたと考えられるものについて資料を収集し，国際社会に生きる日本人としての生き方・考え方をまとめる。 d:人間の定義や、青年の発達課題、源流思想や日本の思想などを理解し、その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
前期後半	現代社会と倫理	・現代の倫理的諸課題 ・現代に生きる人間の倫理 ・人間の尊厳 ・自然や科学技術と人間との関わり ・民主社会における人間のあり方 ・自己実現と幸福	 ○ ○	○ ○ ○	○ 	○ ○ ○	a: ベーコンやデカルトによる科学的な考え方の特色を理解し，科学技術の発達と自然との共生についての興味・関心を高める。 b: 西洋近代の思想家たちは，自由の実現についてどのように考えたのか，多角的・多面的に考察する。 c: ホッブズ，ロック，ルソーに関する資料を収集し，社会契約の思想の違いを整理し、表を作成する。 d: 略伝や図版を活用して，思想家の人生をたどりながら思想内容を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

後期前半	豊かな人生を求めて	・個人と社会の関わり ・現代における理性の問題	○	○ ○	○	○ ○	a：実践された倫理を貫いた人々の生き方に対する興味・関心を高め，生命への畏敬や本当の愛とはどのようなものかを理解する。 b：さまざまな思想家の主張を振り返りながら，私たちの生き方はどのようなものであればよいのかを，多面的・多角的に考察し、発表や討論をする。 c：社会主義の生まれた背景とその発展過程，現代の社会主義について考察し、自分の言葉で文章にする。 d：略伝や図版を活用して，思想家の人生をたどりながら思想内容を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
後期後半		・現代の諸課題と倫理	○	○	○	○	a：クローン技術，遺伝子組換え，脳死臓器移植，安楽死と尊厳死，医療における自己決定権などのテーマから，探究したい課題を見いだし，多面的・多角的に考察し、関心を高めようとしている。 b：地球環境問題，環境保護活動，循環型社会をめざす取り組み，将来の世代に対する責任などのテーマから，探究したい課題を見いだし，多面的・多角的に考察するとともに，広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 c：・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 d：各国間の経済格差の解消，自立を支援するための援助，難民や女性・子どもの人権保障，核兵器の廃絶など，人類全体の福祉実現に向けた取り組みを調べ，地球市民としての生き方を探究する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。